

「岐阜県汚水処理施設整備構想」見直しの概要

1. はじめに

P 1、2

(1) 汚水処理施設整備構想とは

下水道や浄化槽といった、様々な汚水処理施設を効率的に整備、運営していくため、地域特性や地域住民の意向にも配慮した経済的な整備手法と、長期的な事業運営の方針を示すもので、市町村の意見を反映した上で策定するもの

(2) 位置づけ

県内自治体が行う下水道等の個別の汚水処理計画の上位計画

2. 構想の基本理念

P 13～15

(1) 基本理念

「効率的かつ適正な汚水処理施設の整備による自然環境の保全」

(2) 基本方針と目標

【基本方針1】整備区域の適切な見直しに基づく汚水処理施設の早期概成

- 数値目標 汚水処理人口普及率95%以上
- 目標年度 令和7年度

【基本方針2】持続可能な汚水処理施設の整備・運営

- 目標年度 令和17年度

3. 具体的な取組み

P 16～19

目標達成に向け、市町村と連携して地域の実情に合った効率的かつ適正な汚水処理施設の整備に取り組む

【基本方針1】整備区域の適切な見直しに基づく汚水処理施設の早期概成

基本施策	具体的な取組み
1. 下水道整備の促進	・整備手法の検証 ・市町村による効率的・効果的な整備
2. 浄化槽整備の促進	・浄化槽整備、単独処理浄化槽撤去、宅内配管工事費用の助成

【基本方針2】持続可能な汚水処理施設の整備・運営	
基本施策	具体的な取組み
1. 広域的な連携による効率的な施設整備・運営の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・広域化・共同化計画の策定、計画促進 ・大規模災害への広域連携による支援体制整備
2. 人口減少地域における集合処理から個別処理への見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の持続性を検証のうえ地理的要因により統合が困難な集合処理の個別処理への見直し検討と促進
3. 集合処理施設の最適な維持管理、改築・修繕及び更新の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画の策定、推進 ・DX推進による事業の効率化、省力化 ・統合による施設廃止も視野に入れた最適な管理
4. 集合処理施設の経営基盤強化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略の3～5年毎の見直し ・戸別訪問による接続の理解・協力 ・接続率向上方策研究会での促進策の検討・実施
5. 市町村による浄化槽設置の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽処理促進区域指定の技術的助言 ・公共浄化槽等整備推進事業の促進
6. 頻発する大規模豪雨や大規模地震への備えの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道耐水化計画・下水道総合地震対策計画の策定、対策実施 ・下水道BCPの随時見直し、災害への備え
7. 脱炭素社会への取組みの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的設備の導入等による消費エネルギー削減 ・太陽光発電や下水汚泥エネルギー利活用等による創エネルギー促進